

An aerial photograph of a city and its surrounding landscape. A wide river flows through the center, with a large bridge crossing it. The city is densely packed with buildings, and the background features rolling hills and mountains under a clear sky. The text '第5章 ビジョンの推進体制' is overlaid in the center.

第5章 ビジョンの推進体制

ビジョンの推進体制

○市民・事業者・行政が一体で観光振興



課長、観光の方向性が分かってきましたけど、じゃあ「誰が、どうやって」このビジョンを実行するんですか？



それな～。理想ばかり語っても、動かす人がいなきゃ絵に描いた餅だしなあ。僕は餅は好きだけど。道の駅の餅、うまいんだよね～。

観光は「推進体制」がカギになるんですよ。観光は行政だけが頑張ってもダメで、市民や事業者も巻き込む仕組みが必要なんです。



巻き込み型かあ。なんか最近の流行だなあ。でも実際にどうやるんですか？

実際にどうやるんですか？って、そこなんですよ。
“巻き込みます”だけだと、結局『誰が何をやるの？』が曖昧なまま進んじゃいませんか？



うん。だから“推進体制”って言うなら、誰が、何を担当するか。役割分担を先に言語化する。



ビジョンの推進体制



ええな。役割が見えたら“自分ごと”にしやすいわ。

じゃあ、ざっくり言うところ。
まず市(行政)は“土台づくり”だね。
観光基盤の整備、制度設計、データ整備、後方支援、それから関係者の調整。
要するに、民間が動きやすい環境を整える役



“基盤・制度・データ・調整”ですね。行政が得意なところ。

次に観光協会等(中間支援・連携のハブ)。
情報発信や周遊施策の実装、事業者連携、企画運営。
市と事業者の間に立って、回り続ける仕組みを作る役だね。



ここがないと、点の取組で終わっちゃうやつですね。

そして一番大事なのが民間事業者(ショップ・飲食・宿泊・体験など)。
ここは“主役”だよ。
商品・体験の造成、受入品質の向上、情報発信、来訪者満足の向上。
観光って結局、最後は“現場の魅力と接客”で決まるからね。



ビジョンの推進体制



ここが動いたら、観光は一気に強くなるな。

あと交通事業者等は、二次交通や回遊利便性の改善、情報連携。
そして市民・地域団体は、地域の魅力発信と受入(学び・参加)。
“観光客のため”だけじゃなくて、住民が関わるほど雰囲気良くなって、結果として人が来る。



なるほど。これなら『うちは何をする?』が各主体で考えやすい。
“役割分担の見える化”が推進体制のスタートですね。

例えば観光案内所の設置はその一歩です。岩出駅前に新しく整備する案内所は情報発信だけでなく、市民と観光客が交わる場所にするんです。



じゃあ、イベントとかもやるってことですか？

そうそう。地域の人々が主体となって、ワークショップや地元グルメの体験なんかを案内所やその周辺で定期開催していてもいいですね。



ビジョンの推進体制



なるほどな～。市職員だけが頑張るんじゃなくて、市民と一緒に“観光の担い手”になるわけか。



他にはどんなことするんですか？

例えば案内所をバスの起点にして、観光ルート組むとか。駅から根来寺や道の駅に公共交通で移動するルートを提案することも考えています。



あ～。確かに。今は自家用車移動が多すぎるもんな。観光ルートができれば、もっと周遊してもらえそうだ。



観光案内所って情報だけじゃなくて、“まちの玄関口”ってことなんですね。



そのとおり。さらに、SNSと連動した情報発信も強化していきます。



岩出に来たらSNSで「#岩出いいね」って投稿したくなる仕掛けを考えないとな。



観光って施設だけじゃなくて“人”とか“雰囲気”が大事なんですね。

行政、事業者、市民が「観光は自分ごと」だと捉え、共に動く体制を作っていくことが、観光振興の要と考える。